



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYA OYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習

みんなのふりかえり

4回目 7/3 の報告

「多様性が受けとめられる学び場づくりのために」
武田緑 (Demo/教育コーディネーター)



4回目のじんけん楽習塾は教育がテーマでした。グループになって、「心地よかった学びの場」を紹介しながら自己紹介。その後は「多様性が認められる学び」を考えたとき、カードで配られた内容を信号に例えて分類してみるとというワークをしました。

そして、「一人ひとりが大切にされる/学びやすい教室環境を作ろう」にチャレンジしました。机が30個、予算は10000円でグループで教室をデザインしてみます。その時、おのおの役割カードが配られています。私はみんなとわいわい学ぶのが好きな子どもの役割でした。いろんな国の教室も紹介してもらい、学びの場がもっと柔軟でもいいのにと思いました。

Demoでは、「教育から、社会を変える」ための取り組みとして、教職員の方や、教育関係者の方を主な対象として、多種多様な事業を行なっています。海外の教育を学ぶ旅も企画しています。ぜひ！

李 (い) ぽんみ

■自分自身の頭のかたさを実感しました。安心安全な場の作り方、言葉、環境について考える貴重なチャンスになりました。初対面の人同士でも、自由に意見が言えるこの場がとても居心地が良かったです。ありがとうございました。

■グループワークが楽しかったです。個人によって考え方がちがうのも、そんな考えがあるんだと勉強になりました。すべての子どもが楽しく学べて、学校に対してよい思いを持てるような教育環境が整えられる日本、八尾市になってほしいと思います。

■“多様性を受けとめる”というタイトルの意味が教室づくりのワークショップを通じて、実感できました。「前を向いて教壇に向かい、一斉に」という固定観念がそれは日本の先入観なんだと知らされました。居場所づくりという目標が学校教育の場で個を活かすという配慮と工夫が体験を通じて学べました。

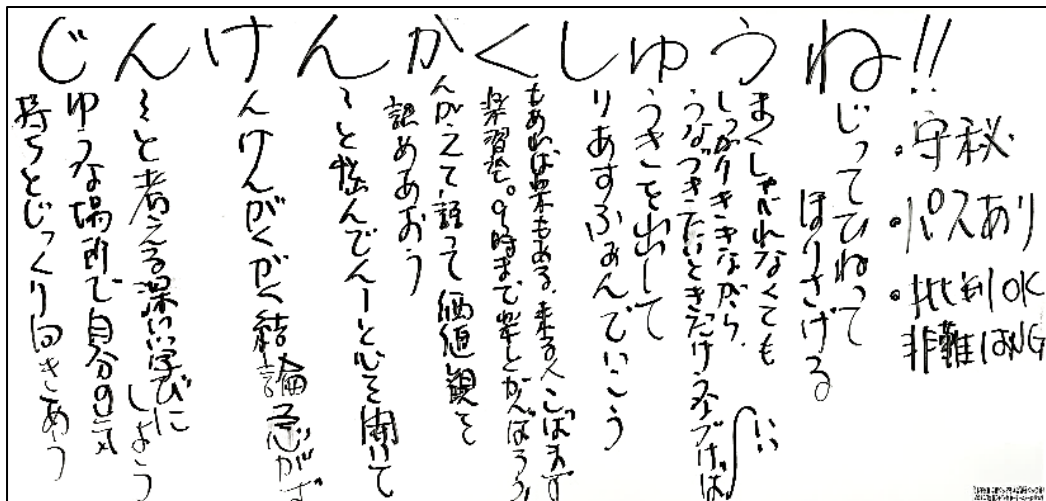
■子どもとして息のしやすい教室を考えていると、とても楽しかったです。先生が子どもと一緒にこの教室をどういう場にしていきたいか、学年の初めに話し合ったりするといいなアと思いました。(まさこ)

■50年前に学校を卒業し、今の教育にたずさわっている人達のことを知り、時代の流れを感じました。

■前半のワークで自分が先生だとしたら、と考えてみた。どの言葉も見逃したくないと思った。だけど、実際、毎日ずつ

とアンテナを張り続けるのは、すごいエネルギーが必要だと思った。先生がアンテナを張れる環境作りをしてほしい。(shin)

■固定観念にしばられている自分に気づいた。ふとした環境に人権はこころがっていると感じた(当たり前)。環境を人にあわせる、そうだそうだと思った。





■最初のワークでは、言った人に悪気はない（むしろホメたつもり）ことも多いのではないかと思います。同時にそれを聞いている人の解釈によってよくも悪くもとれると思

ました。教室をつくるワークでは、一律に机が並んでいるのではなく、そういうスペースもあれば、一人組、ペア、3人組になれるスペースが（机の並び）同じ教室にあるというのが新鮮に思いました。

■グループワークが多く、多様な意見がきけて楽しかったです。楽習塾の意味がわかりました。

■教室リホーム楽しかったです。自分の特性を役割で持って、「こうして欲しい!」と言えたあと、他の子に「どう?どうして欲しい?」と聞く事ができた。どんなことで困っているか気になった。これって大事やなって思いました。

■「多様性が受けとめられる学びの場づくりのために」のテーマにふさわしい楽習塾の時間でいた。2つのワークをしました。1つ目の児童の言葉、先生の言葉をその内容から、赤（危険）黄（ちょっと考えたほうがいい）青（大丈夫、安全な言葉）に分類したとき、グループの人たちと意見交換している中で「実際に人を傷つける言葉でも、しっかりと常に感覚をときすまさないでダメ」とみんなで再確認しました。2つ目のみんながすごしやすい環境（教室）づくりでは、みんなの個性、気持ちを尊重しながら教室の備品や机の配置を変えていく過程が楽しく、でもみんなが気持ちよく過ごせる環境を作る難しさ、大切さも感じました。（トミー）

■気になるフレーズがあっても、具体的にどう言うか、とても考えさせられました。相手や状況によって、いろいろ違ってくことも心にとめておこうと思います。「言葉は環境」いい場をつくるのは、カタ

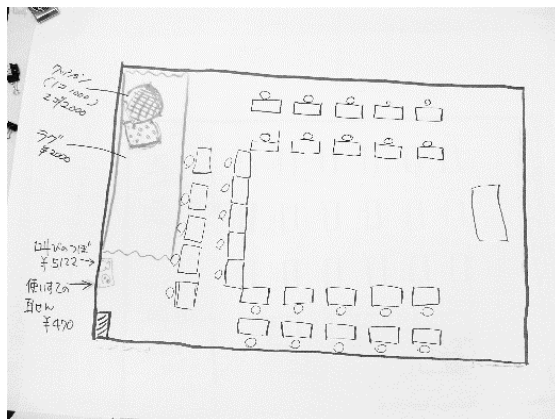
チだけでないことは、自分の経験を振り返ること、分かりやすかったです。子どもたちといっしょに作っていくためには、自分のことを言える関係性からはじめないと、と思いました。

■班のメンバーや他の班の意見をたくさん聞く見ることで、いろんな発見ができました。教室をつくることは楽しかったですし、いろいろな形があると思いました。まだまだ頭がかたいなあ…。

■空間づくりで、以前、岩瀬さんの本を読んだときに反省したのですが、自分が教員していたとき、もっと生徒と一緒に教室のレイアウトを考えればよかったですなあ、今日も思いました。居心地のよい環境づくりとは思っていたのですが、全部自分でやってしまっていたので、それではおもしろさ半分しかなかったなあ。

■教室づくりすごくおもしろかったです。とても自由なみなさんの考えを聞く事ができたり、海外のスタイルを見て、自分の固定観念に気づけました。海外の教室のスタイルもそうですが、個に応じた教育をどう行っているのか、とても興味深かったです。子どもが安心安全に教室ですぐすための工夫を知ったり、自分自身でも考えていきたいと思います。今日はいろんな刺激をいただきました。ありがとうございました。

■今日で2回目のじんけん楽習塾でした。なかなかむずかしく考えさせられた。



連絡

もし参加者の皆さんで宣伝したいチラシ等ありましたら、ご持参ください。毎回ふりかえり用紙をくばります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。（公開だめなものはオープンにしません）

写真を撮影しますが、OYA OYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用場合があります。なるべく個人が特定しにくいものと考えていますが、困るという方は事務局に申しつけてください。